

輝く未来へ しほろ創生

広報



しほろ

2021
No.725
4

土幌町開町100周年

■主な内容

- ・土幌町開町100周年……………P 2-3
- ・町政執行方針／教育行政執行方針……………P 4-13
- ・3月議会で可決された主な案件……………P 14
- ・土幌町文化賞・スポーツ賞等受賞者のご紹介… P 15-17
- ・教育長退任のごあいさつ……………P 18-19
- ・退職者(管理職)のごあいさつ……………P 18-19
- ・第7期行政改革を進めます……………P 20
- ・町民総合情報紙～2021版を発行～……………P 21
- ・意見の広場をご利用ください……………P 22
- ・運転免許証を自主返納するとバス運賃が半額になります!!……………P 22



100周年 夢拓き 大地と生きる 土幌町

士幌町開町100周年

開町100年を迎えて

士幌町は、大正10年に当時の音更村から分村して1世紀という大きな節目を迎えます。

士幌町の歴史は、明治31年に「岐阜県美濃地方から移民の方々による開拓」、大正10年に「音更村から分村『川上村』と称する」、大正15年に「士幌村」と改称、昭和37年に「町制施行」という町勢の変換のなかで幾多の困難を乗り越え、今日の発展を築いてきました。

昭和30年に「新農村建設計画」を策定し、農業を基軸とした地域づくりを基本方針として、乳と蜜が流れる「農村ユートピア建設」という高邁な理念のもと、農村づくりが展開されてきました。生産者、機関団体が一丸となって生産基盤の整備や農村工業の導入など、先駆的な取り組みにより生産額も町民所得も大きな伸びを示し、全国有数の「農業の町」と称されるに至りました。

昭和43年以来6期にわたる町づくり総合計画を策定、10年ごとの目標を設定し、町づくりを推進してきましたが、町民福祉にあつては「愛の町」を標榜し、保健医療福祉を包括する福祉村を形成して町民の生涯を支える取り組みを展開してきました。

現在の第6期計画においては、輝く未来へ、しほろ創生をテーマに町の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と町民誰もが安心・安全、生きがいを実感する「豊かな町」を目指しています。

開町100年を迎えるにあたって、町内外より多くの意見や提案もいただきながら、機関団体の代表者による検討委員会で協議をいただき、記念事業を行うものがありますが、今日まで、町の礎を築いてこられた先人の努力に敬意を表するとともに、新しい町づくりに向けた町民の意志



明治2年	十勝国を創設、河東郡を定められる
明治31年	美濃開墾合資会社の移民が中士幌に43戸入地
明治35年	下居辺に入植始まる
明治38年	中音更下台に入植始まる
明治39年	幹西2線33号付近に6戸入地(百戸開拓始まる)
明治41年	士幌西2線24号付近に入地者増加
大正元年	長島治吉らにより上居辺入植開墾始まる
大正2年	堀田正恒佐倉農場を創設
大正8年	中音更西7線26号付近に6戸入地
大正10年	松室農場入植始まる
大正14年	音更村から分村「川上村」と称す
大正15年	川上村と川合村との区域変更により居辺の一部編入
大正15年	帯広―士幌鉄道開通
昭和6年	川上村を「士幌村」に改称
昭和8年	本村から上士幌村を分村
昭和9年	士幌産業組合設立(丁A士幌町の前身)
昭和14年	池田町と区域変更により下居辺の一部編入
昭和19年	中士幌消防組創立
昭和22年	士幌村警防団結成
昭和23年	士幌村農業会創立(産業組合・農会を統合)
昭和25年	警防団を改組し士幌消防団発足
昭和27年	士幌村農業協同組合創立
昭和28年	三笠宮夫妻が本村にお立ち寄り
昭和33年	十勝沖地震
昭和33年	役場庁舎焼失
昭和33年	皇太子殿下(現上皇)が士幌村農協合理化でん粉工場を御見学

開町100周年記念事業

PR事業

- ・ロゴマーク・キャッチフレーズ募集
- ・100年新聞作成
- ・記念誌作成
- ・町勢要覧作成
- ・新聞広告 ほか

記念事業

- ・北海道日本ハムファイターズ
179市町村応援大使事業
- ・記念講演(公演)等
- ・100年の森づくり植樹祭
- ・各種団体補助事業 ほか

記念式典

予定 日：11月15日 月曜日
場所：総合研修センター

その他

- ・土幌物語等の映像資料デジタル化

ロゴマーク・キャッチフレーズが決定!

ロゴマーク51作品、キャッチフレーズ113作品の応募の中から、記念事業検討委員会での厳正な選考を経て決定しました。採用作品は開町100周年を皆様と一緒に盛り上げるとともに、様々な記念事業の展開や町内外に魅力を発信するため活用させていただきます。たくさんのご応募、ありがとうございました!



群馬県在住

井口 やすひさ さん

開町100周年を町民一体となって祝うイメージを「100th (町章)」と「町周辺の豊かな自然(山・川・丘陵)」をモチーフに、貴重な歴史や伝統、産業、文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信を表すとともに、開町100周年の機運醸成を節目に次世代へ継承し、安心、信頼される町の福祉や町政を目標に更なる発展・繁栄する「土幌町」の輝かしい姿と未来像を力強くアピールしています。

100周年 夢拓き 大地と生きる 土幌町

愛知県在住 中山 善富 さん

岐阜から先達が入植して以降、豊かさを夢見て、大地の開拓を推進し、大地と共に生きてきた土幌町の歩みを、温故知新の思いで、後世へと引き継いでいけるよう、願いを込めました。

を結集する機会にしたいと思います。
国際化やグローバル化の進行で町を取り巻く環境がより多様で厳しさが増すことに加え、コロナ禍という大変な状況での開町100周年ではありますが、ウイズコロナ、ポストコロナで新しい日常を築くとともに、時代のニーズを踏まえつつ、町民の協働により、持続可能な産業・地域を目指して2世紀の確かな町づくりを推進したいと思っています。

土幌町長 小林 康雄

昭和37年

町制施行を議決「土幌町」となる

開基40周年町制施行記念式典挙

診療所を改築し町立国保病院となる

「広報しほろ」第100号刊行

十勝沖地震

町民憲章制定、開町50周年記念式典挙

「しほろ役場だより」発刊(月3回)

「議会だより」発刊

第1回収穫感謝のつどいを開催

中川一郎農林大臣来町

第1回しほろ7000人のまつりを開催

現役場庁舎・コミセン落成

土幌町開基60周年町制施行20年記念式典挙

町史「土幌のあゆみ」刊行

「町民文芸誌めぐみ」創刊

中曽根総理大臣視察来町

国鉄土幌線廃止

「ピア21しほろ」オープン

開基70周年記念式典挙

町づくり記録映画「土幌物語」完成披露

町史「続土幌のあゆみ」刊行

総合研修センター落成

美濃市と姉妹都市提携調印

「ピア21しほろ」が道の駅に登録

新町立国保病院・総合福祉センター落成

「しほろ温泉プラザ緑風」オープン

開町80周年記念式典挙

特別養護老人ホームほほえみ落成

十勝沖地震

「しほろ温泉プラザ緑風」が道の駅に登録

開町90周年記念式典挙

4つの台風・初避難勧告

道の駅「ピア21しほろ」リニューアルオープン

北海道胆振東部地震・ブラックアウト

吉川貴盛農林水産大臣視察来町

令和3年度 町 政 執 行 方 針

開町100周年記念事業を通じ、 新しい町づくりに向けて 町民の思いを結集する機会に

3月5日に開会した第1回定例町議会において、小林康雄町長が町政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

日本経済は新型コロナウイルスの影響を受け、極めて厳しい状況にあります。ワクチン接種をはじめとする感染拡大防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを引き上げる中で、各種政策の効果や経済活動の改善により、持ち直しが期待されるところであります。しかしながら、経済の水準は依然としてコロナ前を下回っており、感染拡大による内外経済への影響に注視しなければなりません。そのような中、令和3年度当初予算は、感染防止と社会経済活動の両立を図りつつ、ポストコロナ時代の新しい社会を目指すものであります。一方で、国・地方の債務残高がGDPの2倍超となる見通しであり、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針2020）」に基づいて経済財政一体改革を推進しようとするものであります。地方においても、コロナ禍における経済変動とあわせ、人口構造の変化や自然災害の多発など、町を取り巻く環境が様変わりする中において、行財政、産業経済、町民生活といずれの分野も厳しさ、多様さが増しています。

II 施策の基本

そのような中での町政推進は、時代のニーズをしっかりと踏まえつつ健全な財政運営に留意しながら、戦略的な視点を持った地域づくりを積極的に推進しなければなりません。令和3年度も第6期町づくり総合計画（平成28年度～令和7年度）、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）の推進方針を踏まえながら、

- ・協働の町づくりで町民力・地域力の向上
- ・時代のニーズを踏まえた戦略的かつメリハリのある町政の推進
- ・賑わい、元気、潤いのある町を目指して

を政策展開の基本とし、地域の産業・資源を活かした「活力のある町」と町民誰もが安心・安全、生きがいを実感出来る「豊かな町」を目指し、全力を傾注して町政を推進して参る決意であります。

我が国の経済は、新型コロナウイルスの影響により厳しい状況となる中、国は「緊急経済対策」としての第1次・第2次補正予算、「総合経済対策」としての第3次補正

予算を編成し、感染防止と社会活動のレベルを引き上げるべく措置がされていますが、経済動向は依然として厳しい状況が予想されます。この結果、令和2年度の国内総生産の実質成長率は▲5.2%程度（名目成長率は▲4.2%程度）、消費者物価指数変化率は▲0.6%程度と見込まれています。令和3年度の経済見通しは、令和2年度第3次補正予算と令和3年度当初予算の15か月予算となる総合経済対策により、令和3年度の国内総生産の実質成長率は4.0%程度（名目成長率は4.4%程度）と見込まれていますが、新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進み、感染予防とあわせ経済の改善がなされることが重要であります。そのような中での財政政策は、経済・財政一体改革を目指す予算として編成され、昨年12月21日に閣議決定され、新型コロナウイルスの感染防止対策とあわせ「人・インノベーションへの投資、2050年カーボンニュートラルを目指す環境対策、切れ目のない子育て保育サービスなど全世代型社会保障制度、テレワークや働き方改革など地域共生社会の実現、自然災

害からの復興や国土強靱化などを重点施策として、一般会計は10兆6,097億円、前年度比3兆9,517億円、3.8%増と、当初予算として9年連続で過去最高を更新し、100兆円超えが3年連続となったところであります。経費別では社会保障費(35兆8,421億円、0.4%増)、防衛費(5兆3,422億円、0.5%増)が過去最大となり、新型コロナウイルス対策の予備費として5兆円が計上されました。歳入では税収が▲9.5%となる見込みから、新規国債発行額は43兆5,970億円(前年度対比11兆408億円、33.9%増)と11年ぶりに増額となりました。このため、歳入に占める国債依存率は前年度比9.2%増の40.9%となり、令和3年度末における長期債務残高は990兆円(国と地方あわせ1,209兆円)と見込まれ、先進国では突出して多い状況にあります。また、北海道開発予算は道路整備費(0.1%増)、農業農村整備費(2.1%増)を含む全体予算は前年度比0.5%減の5,718億円となりました。なお、令和2年度第3次補正予算2,039億円

を加えた15か月予算は7,758億円となり、令和2年度当初予算と令和元年度補正予算の合計7,711億円を上回る予算となりました。地方財政対策については、一般財源(水準超過経費を除く)は61兆9,932億円(前年度比2,414億円、0.4%増)となり、その内地方交付税は17兆4,385億円(前年度比8,503億円、5.1%増)、臨時財政対策債は5兆4,796億円(前年度比2兆3,399億円、74.5%増)となりました。更に、「まち・ひと・しごと創生事業費」は引き続き1兆円が確保され、「地域社会再生事業費」についても引き続き4,200億円が計上されました。

このような国の経済、財政の動向の中にあつて、町の行財政を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、その状況を踏まえつつ令和3年度の予算編成を行ったものであります。今後とも財政の健全化に一層留意をしなければならないものと認識をしているところであります。本年度も第6期町づくり総合計画・後期計画および個別計画の推進とあわせ、第7期行政改革推進大綱を踏まえ、効率的

かつ計画的な行財政運営に留意しつつ、時代のニーズを踏まえた施策を積極的に展開する、戦略的かつメリハリのある町づくりを推進して参る所存であります。

Ⅲ 重点施策

新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスによる感染者・死亡者は2月20日現在で、世界では、感染者1億1,100万人、死亡者346万人、国内では感染者42万人、死亡者7,400人、道内では感染者18,000人、死亡者650人と未曾有のウイルスの拡大であります。国内においては第3波の感染拡大が収束しつつありますが、当面は予断を許さない状況であり、一層の感染防止の徹底が必要であります。

令和2年度は、地方創生臨時交付金(4億9,478万1千円)や国庫補助金を活用しながら、感染防止対策、生活・経済支援とあわせ、公共施設の環境改善、農村部への光ファイバの整備などを推進してきました。令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス関連対策を推進するものでありますが、

特に3月よりスタートするワクチン接種体制の構築に全力を傾注し「よりスムーズにより安全な」接種を目指して参りたいと存じます。

開町100周年記念

士幌町は大正10年に当時の音更村から分村して令和3年が1世紀の大きな節目となります。町内関係機関・団体の代表者による検討委員会を組織して、PR事業・記念事業・式典事業を実施すべく検討中ではありますが、新型コロナウイルスの感染状況にも留意しながら推進しなければなりません。開町100周年記念事業を通じ、全国有数と言われる農業の町を築いてこられた先人の努力に敬意と感謝を表するとともに、新しい町づくりに向けて町民の思いを結集する機会として準備を進めて参りたいと存じます。

各計画の適切な推進

- 令和3年度は、
- ①第6期町づくり総合計画・後期計画(令和3年度～令和7年度、5か年計画)
 - ②第7期行政改革推進大綱(令和3年度～令和7年度、5か年計画)

③第4期地域福祉計画(令和3年度～令和7年度、5か年計画)

④第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度、3か年計画)

⑤第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画(令和3年度～令和5年度、3か年計画)

と多くの計画がスタートとなるものでありますが、実施と検証を重ねながら、確かな町づくりを推進して参る所存であります。

Ⅳ 主要施策

時代のニーズを踏まえた計画的かつ効率的な町づくりの推進

本年度も第6期町づくり総合計画・後期計画(令和3年度～令和7年度)、第2期士幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～令和6年度)により、町づくりを推進するものであります。推進にあたっては、政策調整推進会議をはじめとする庁内組織と連動して町民会議や地方創生推進会議など、町民や関係機関・学識経験者にも広く参画をいただきながら、推進をして参りたいと存じます。次に、財政健全化に向けての取

り組みであります。国においては「骨太方針2020」に基づき、

経済財政の一体改革を推進して基礎的財政収支(プライマリーバランス)の改善を目指すものとして、いるところであります。地方財政対策においては、地方交付税(8,503億円、5.1%増)と臨時財政対策債(2兆3,399億円、74.5%増)は増額となったものの、新型コロナウイルスの影響で財政状況が厳しくなることも予想され、地方自治を取り巻く環境がより多様で厳しくなる中にある町の町政推進は、時代のニーズをしっかりと見極めながら、より計画的かつ効率的な運営に留意しなければなりません。

本町は町の担う事務事業が多いこととあわせ、経常収支比率が高く(令和元年度決算88.1%)、財政の硬直化が進んでいる状況にあります。第7期行政改革推進大綱の具体的な推進により、健全な財政運営に一層留意をして参る所存であります。

地方創生の推進に向けた取り組み

地方創生は第2期総合戦略として・地域産業の活性化と多様な雇用

の創出

- ・交流・移住・定住の促進
- ・結婚・出産・子育ての支援
- ・安心して住み続けられる地域づくりを4つの基本目標として

- ・多様な雇用やニーズに対応する住宅対策

- ・次世代農業(スマート農業など)の推進

- ・士幌高校の魅力向上と未来をけん引する若者支援による波及促進事業

情報発信機能の充実

を地方創生「推進交付金」などを活用しながら積極的に推進し、定住人口の安定、移住の促進、交流・関係人口の拡大など、地域の活性化を図って参る所存であります。

また、4つの閉校小学校の活用とあわせ、美濃の家や旧士幌駅などの町内の歴史的な資源を町づくりに活かすべく、取り組みを推進して参りたいと存じます。更に、令和2年度からの繰り越し事業として「高度無線環境整備推進事業」(光ファイバ整備)を行うものであります。光ファイバ網を活用したスマート農業をはじめICT事業の展開を目指して参る所存であります。

活力ある地域産業の振興と地域活性化の推進

基幹産業である農業をめぐっては、令和2年度は気象の偏りが大きい状況とあわせコロナ禍の影響もあり、十勝の農業生産額は3,456億円(概算値)と2年ぶりに前年を下回り、本町においても昨年度の458億円を下回る見込みであります。その状況にあっても地域の経済・財政への波及効果は大きく、改めて十勝・士幌は農業が基幹産業であるとの思いを強くするものであり、生産者・関係機関のこれまでの努力に敬意を表すものであります。

その一方で、国際化の拡大とあわせ、コロナ禍における消費構造の変化などがあり、それらの動向をしっかりと見極めながら対応していかなければなりません。国際化・グローバル化が進む中において、これまでの生産性の高い士幌型農業に加えて、昨年度スタートした国の「食料・農業・農村基本計画」の主旨を踏まえ、農業・農村の多面的機能を発揮しながら、

- ・「食」の発信
- ・多様な経営形態の検討
- ・担い手の育成

・スマート農業の推進

・持続可能な農業・農村づくり

などの取り組みを、農業振興対策本部（審議会・執行部会）が中心となって推進して参りたいと存じます。

一方、景気低迷や消費流出に加え、新型コロナウイルスの影響もあり商工業を取り巻く環境も一層厳しいものがありますが、商工業は農業と並ぶ主要な産業であることとあわせ、高齢社会の進行や消費者ニーズの多様化が進む中にあることは、新たなサービス機能の充実も必要と認識をしているところであります。令和3年度は新型コロナウイルスによる地域消費への影響をしっかりと見極めつつ、商工会と連携をして適切な支援対策を行って参りたいと存じます。

次に、道の駅ピア21しほろ、しほろ温泉プラザ緑風、土幌高原ヌプカの里の観光拠点も、大変厳しい運営状況にあります。町として必要な支援を行うこととあわせ、指定管理者にも様々な制度も活用いただきながら、事業の回復に尽力をいただきたいと存じます。

次に、労働力不足はいずれの職種においても大きな課題となっている中、「土幌町雇用対策連絡調整

協議会」において連絡・調整を進めるとともに、農業振興対策本部や町内関係機関との連携のもと、働き手の確保、労働環境の改善を推進して参る所存であります。また、産業振興を進める上で担い手の育成は重要な課題であり、町内関係機関との連携のもと、調査・研究やモデル事業を行いながら積極的に推進して参りたいと存じます。

子育て支援の推進

子育て支援は、これまでも主要施策として推進して参りましたが、人口減少に立ち向かうべく、地方創生においても子育て支援は重要なテーマの1つであり、第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）とあわせ、第2期総合戦略の基本目標により、重点施策として事業を展開して参りたいと存じます。本町は様々な子育て支援対策を推進してきたところであり、令和2年度は新型コロナウイルス対策の一環として、中学校・土幌高校へのエアコン設置、GIGAスクール構想実施に向けた校内通信ネットワーク整備やタブレットの整備を行ったところ

ろであります。令和3年度はこれらの利用推進に向けた対策を推進して参りたいと存じます。

一方、全国的に子供の虐待や事故の頻発、子どもの貧困と言われる事態を大変憂慮しているところであり、地域を挙げて子どもを守るために、町・教育委員会・児童相談所・警察など関係機関との連携を徹底し、対策に取り組んで参りたいと存じます。

安心安全が実感できる町

少子高齢化、核家族化の進行と相まって、国の社会保障制度が見直される中であって、保健・医療・福祉の推進においては、実態や動向に注視をしながら、よりきめの細かい対応が必要であると認識をしているところであります。

まず、健康づくりの推進については、「健康イキイキしほろ21計画（第二次）（平成27年度～令和6年度）や「第2期保健事業実施計画（データーヘルス計画）」および「第3期特定健康診査等実施計画」（平成30年度～令和5年度）に基づき、啓蒙活動の徹底や巡回健診の定着（2会場、9回）を図りながら実施しているところでありますが、特定

健診の実施状況は地域差も大きく、全体として目標に達していないのが現状であります。令和3年度において、特定健診受診率58%（令和4年度60%）、特定保健指導率58%（令和4年度60%）の目標達成に向け、積極的に啓蒙活動を展開して参りたいと存じます。

次に、高齢者および障がい者の福祉については、「第4期地域福祉計画」「第8期介護保険事業計画」および「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」のスタート年となりますが、福祉関係団体との連携のもと計画を推進して参る所存であります。

高齢者に関しては、医療や介護における自己負担が増加する傾向となっており、社会保障費抑制の方向は、今後更に強まること予想され、その動向をしっかりと見据えなければなりません。第8期介護保険事業計画における「第1号被保険者」の保険料基準月額、介護保険準備基金の繰入れも行いながら、第7期と同額の月額6,100円に据え置くこととしました。事業の運営にあたり、介護予防と在宅介護の充実による保険料の高騰抑制と制度の安定を図って

参りたいと存じます。

障がい者福祉では、NPO法人「土幌町障がい者支援の会」により「障がい者総合施設」を拠点として日中一時支援、地域活動支援センター、就労継続支援B型の事業が展開されているところであり、令和3年度からは地域おこし協力隊による相談体制の強化を図るところであります。今後においても、NPO法人と連携しながら機能の充実を図って参りたいと存じます。高齢者住宅および障がい者総合施設などの整備により、「福祉村」内におけるハード面の整備はほぼ完了していることから、今後はその機能の連携を図りながら「地域包括ケアシステム」の確立に向けた取り組みを一層進める必要があるものと認識をしているところであります。更に、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会など福祉関係団体と連携しながら、全地域で展開されている「ふれあい・いきいきサロン」や「見守りネットワーク事業」など、地域で支え合うシステムづくりを積極的に推進して参りたいと存じます。

地域福祉の推進に向けては、交通手段の確保が重要な要素であり

ますが、市街地におけるコミュニティバス運行(平成27年度開始)とあわせ、令和元年度より実施している「高齢者等移動支援実証事業」については、自動車運転免許証を有しない農村部の高齢者等を対象として、自宅から役場間のハイヤー代金6往復分のチケットを交付してりましたが、新年度より12往復分に拡充し「高齢者等移動支援事業」として実施するものであります。

次に、地域医療に関わってありますが、医師・看護師不足、診療報酬の改定などにより、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。病院問題は、町にとって大きな課題・懸案であると認識しているところであり、国保病院は町内唯一の医療機関、保健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担うものであります。サービスの向上とあわせ、経営改善の取り組みを行っています。依然として一般会計から4億円超の繰出しをしています。平成30年度において「町立病院改革プラン」に基づき、2病棟60床から1病棟50床としたところがありますが、今後におい

て、行政改革の重点項目として人口構造や医療ニーズの変化を踏まえつつ、医療機能や経営形態に至る抜本的なあり方の議論を集中的に行って参りたいと存じます。

一方「東日本大震災」から間もなく10年を迎えようとしています。が、その後も集中豪雨や地震など全国的に大きな被害が発生しているところでもあります。大規模な自然災害が毎年のように繰り返される中、今後も自然災害への対応は極めて重要であります。地域防災計画により、防災備蓄品の整備や自主防災組織の設立を推進しているところではありますが、前年度に「防災行政無線」の整備や防災拠点(役場)の非常用電源設備の増強を行ったところであり、防災機能の充実や防災意識の向上を図りながら、少子高齢化社会にあつて、**町民誰もが安心・安全を実感出来る地域づくり**に一層留意をして参る所存であります。

農村環境の充実

本町における環境対策は、従前からの公害防止対策、ごみの適正処理(リサイクル、有料化)、快適環境づくり事業、自然環境保全対

策に加えて、省エネとしての「環境マネジメントシステム」(L A S I E)や新エネルギービジョンを策定して、再生可能エネルギー事業を推進しているところであります。

北十勝2町環境衛生処理組合で行っている「ごみ処理」については、新しい中間処理施設が稼働する令和9年度より十勝圏複合事務組合に加入し、19市町村による広域処理に参加することとなりました。今年度より、最終処分場の延命対策や移行に向けての諸課題の検討を行って参ります。これら環境対策は、第2期「土幌町環境基本計画」(平成30年度～令和9年度、10か年計画)に基づき取り組むものであります。持続可能な農業、豊かな農村づくりに向け、SDGs(持続可能な開発目標17項目)を第6期町づくり総合計画・後期計画や第2期総合戦略の施策に位置付け推進して参る所存であります。その他、広域連携の拡大に取り組むとともに、多面的機能支払交付金事業(全町9地区)の継続、農業基盤整備事業(国営・道営)の推進、ふるさと納税の普及・拡大など、主要懸案事業に精力的に取り組んで参りたいと存じます。

令和3年度 教育行政執行方針

「生きる力」を身につけるため、 「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の 調和のとれた育成を目指して

3月5日に開会した第1回定例町議会において、堀江博文教育長が教育行政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

教育基本法は「教育は人格の完成を目指すし、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と、その目的と基本理念を明確にしているところであります。この理念を踏まえ、町民の信頼と期待に応えるために必要な教育環境を整備し、教育の質を高めていくことは極めて重要であり、令和3年度から5年間で計画期間とする「土幌町教育振興基本計画」に基づき、教育施策の総論的・計画的な推進を図ってまいります。今日の社会は、Society（ソサエティ）5.0の到来が予想されるなどの急激な社会変化が進む中、人口減少やグローバル化に的確に対応しながら、変化を先取りした改革を進めていくことが必要であります。そうした中、本町の学校教育においては、教育実践のテーマである「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」を基調とし、子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、学校はもとより家庭や地域と連携して「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成を目指し、地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組めます。また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動などの多様な活動に参加し、生きがいを持って心豊かな生活を営み、生涯にわたって学び、その成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ教育行政を推進してまいります。

とれた育成を目指し、地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組めます。また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動などの多様な活動に参加し、生きがいを持って心豊かな生活を営み、生涯にわたって学び、その成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ教育行政を推進してまいります。

II 重点施策

1 学校教育

学校においては、子どもたちが社会の一員として自立し、たくましく生きていくため知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成、すなわち「生きる力」を育成することが極めて重要であります。

基礎・基本を身につけた確かな学力

・学力向上

全国学力・学習状況調査の結果

を検証・分析し、具体的な改善策に結びつける取り組みを行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって、町内全体の学力の向上を目指します。各学校では、子どもたちの学力向上のために、全校的な学校改善プランを策定し、継続的な取り組みを粘り強く進める一方、具体的な授業改善や個に応じた指導の充実に努めています。今後はそれらの取り組みを更に充実させてまいります。

・学習サポート

平成22年度から、各学校および教育委員会で開始した子どもへの学習サポートは、年を経るごとに内容が充実し、支援体制や家庭との連携の部分でも着実に効果が見られるようになってきておりますが、今後とも全ての小中学校において、基礎基本の定着、苦手な学習の克服、自主的な学習態度の育成等を図るため継続することとして、更に効果の上がる取り組みにしていまいります。

・臨時教諭等の配置

全国的に教員が不足している状況にありますが、日常の授業においては、個に応じた指導の一層の充実を図るため、土幌町立小学校における学級編制等に関する規則に規定する基準により、低学年の

少人数学級編制等の町費負担による臨時教諭の配置を継続実施することができるよう努力してまいります。また、必要に応じて、学校に臨時教諭、臨時講師、支援員を、医療的ケアが必要な児童生徒が就学する学校には看護師の配置を行うてまいります。

・集合学習

小規模複式校においては、子ども一人ひとりの願いや思いを大事にし、少人数であることのメリットが最大限発揮できる教育活動を展開していきます。また、集団活動や学び合う意識など、多人数でなければ体験できない学習を補うため、集合学習の内容に工夫を加えながら、更に積極的に推進してまいります。

・外国語教育

昨年度の小学校学習指導要領の全面実施に伴う、中学年の「外国語活動」ならびに高学年の教科としての「外国語」の実施、さらに本年度の中学校学習指導要領の全面実施、本年度から段階実施される高等学校学習指導要領によって実現される新課程など、小中等学校を通じた外国語教育の抜本的強化が進められております。3名体制の外国語指導助手(ALT)派遣による「聞くこと・話すこと」の指

導の強化とともに、研修等により小学校教員の授業力向上を図ってまいります。

・特別支援教育

校内連携会議や特別支援教育コーナーディネーターを中心に、全職員による特別支援教育の推進体制の充実を図るほか、特別支援教育支援員を要所に配置して、子ども一人ひとりの能力や可能性を伸長するきめ細かな指導・支援に努めてまいります。また、教育委員会、学校、認定こども園、保育所等の関係機関の連携組織である「士幌町子育て支援連携協議会」で協議し、特別な教育的支援が必要な子ども一人ひとりに乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を推進してまいります。

・ICT活用

教科指導における情報通信技術(ICT)の活用、情報活用能力の育成、校務の情報化の3つの側面を通して、教育の質の向上を目指すため、ICT機器等の整備を計画的に進めてまいります。本年度は特に、昨年度に導入した1人1台端末により、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育I

CT環境を実現してまいります。

更に令和6年度に本格導入を目指すデジタル教科書について、本年度は試行的に小中学校の全学年で1教科を導入して準備を進めてまいります。

・プログラミング教育

学習指導要領の改訂により、昨年度から小学校教育でプログラミング的な思考を身に付けることを目標とした「プログラミング教育」が完全実施されていますが、研修等により教員の指導力の向上を図ってまいります。

・教職員研修等

学校教育の成果は、教職員の資質能力と熱意によるところが極めて大きいことから、教職員が教師力を高める機会を拡充するとともに、研修内容の充実を図り、能力を最大限発揮できるよう学校運営を支援してまいります。そのために、学校教育指導の機会を活用するとともに、各種の研究会・研修会に積極的に参加してプロの教師としての腕を磨く研修を積極的に後押しするよう努めてまいります。

また、教職員の資質や実績を正しく評価することで、教職員の意欲を引き出すとともに、学校教育に対する信頼を確保するため、教職員の服務規律の徹底を図ります。

優しさと思いやりのある豊かな心

子どもたちが互いを尊重し、ともに支え合いながら社会の一員として成長するためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

・道徳教育

命を大切にする心や思いやりの心、公共心や規範意識を育てるため、あるいは社会性や豊かな人間性を育むため、道徳教育の充実に努めます。具体的には、道徳の授業を参観日等で広く公開することに努めるとともに、北海道版道徳教材「きた・ものがたり」「北海道おもてなしハンドブック」を学校教育全般にわたって有効に活用するよう努めてまいります。

また、「特別の教科 道徳」については、その趣旨や理念の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりを確実に推進するよう指導してまいります。

・いじめ防止対策

いじめは、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長および人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。いかなる理由

があろうと、絶対に許さないという強い認識に立ち、緊張感を持って未然防止に努めるとともに、早期発見・早期解消に取り組むことが必要です。国が示した方針に基づき、教育委員会と各学校が策定した「いじめ防止基本方針」は、それぞれの状況や実態に応じて作られたものですが、小さいいじめはどの学校でも起こり得るものであり、各学校においては、必要に応じて見直しを行うとともに、教職員組織的な取り組みや児童生徒への指導、保護者・地域への説明を、年間を通して推進するよう努めてまいります。

健康とたくましい体力

・体力向上

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証・分析し、具体的な改善策に結びつける取り組みを行うとともに、学校間で情報进行交流・共有することによって、町内全体の体力・運動能力の向上を目指します。各学校では、子どもたちの運動の日常化の取り組みの実践を行っています。体力を向上させるためには学力と同じように毎日地道に取り組むことが大事なことであり、新体力テストの全学年実施や1校1実践の取り組みを更に充実させてまいります。

・早寝早起き朝ごはん運動

日常の規則正しい生活習慣の確立が、子どもたちの心身ともに健全やかな成長に大きな影響を与えることから、家庭との連携を強化して、実効性を伴った早寝早起き朝ごはん運動を推進してまいります。

・スポーツ少年団活動、部活動

本町の児童生徒は、スポーツ少年団活動・部活動参加率が高く、各種スポーツ競技大会での成果が注目されていますが、健康・体力や運動能力の一層の向上を図る方策として、これらの活動を積極的に支援してまいります。

安全・安心な教育環境づくり

学校は、子どもたちにとって安全で安心して学ぶ場でなければなりません。通学時の安全対策を含めて、実践的な防災・防犯教育を進めるとともに、子どもたちの安全・安心を確保し、快適に学ぶことができる教育環境を整備するために、家庭や地域・関係機関との連携を図ってまいります。子どもたちの安全・安心に対する教職員の意識の高揚や学校における様々な危機を想定し対応する体制の整備を図るとともに、引き続き保護者には、道警・ほくとかん防犯メー「ル」への登録を案内してまいります。

大地くんと学ぼう

本町の特色ある教育の一つである食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、地元で生産される農畜産物などを利用した食品加工体験を通して、地域の産業や食育を学ぶなど、管内的にも注目される取り組みとして継続して実施してまいります。

お弁当の日

本町における「お弁当の日」の取り組みについては、平成26年度から町内の全小学校で実施するようになりました。今後も保護者の理解や協力を得ながら、この取り組みを継続し「お弁当の日」が家族団らん「の機会を増やし、家庭に明るい笑顔をもたらし、つながることを願うものです。

都市交流事業

各小学校間で長い歴史がある都市小学校との交流事業は、子どもたちの日常生活では経験することのできない貴重な体験を通して、人間形成に大きな役割を果たすものと考えます。事業実施にあたっては、相互交流を基本とすることから、交流先の理解と協力が必要となりますが、子どもたちの心に残る事業実施に向けて協議を進め、本事業の目的達成に努めてまいります。

学校給食

衛生管理や指導の徹底を図るとともに、食の安全確保に努めてまいります。

地産地消の推進につきましましては、町内生産者でつくる「もぎたて市なかよし会」や土幌高等学校の協力の下、土幌産の食材を生きた教材として活用し、安心で食文化への理解を深める取り組みを進めていきます。

また、栄養教諭等による食育の指導を通し、望ましい食習慣や生活習慣の確立に努めていくため、平成27年度から月1回、献立の中に「和食の日」を設けており、更なる和食への理解を深めることといたします。

さらに、食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同じように学校生活を安心して過ごすことができるように、教育委員会や学校においては、学校給食等における食物アレルギーの対応を進める必要があり、平成27年度に教育委員会が策定した「学校における食物アレルギー対応の指針」および「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を活用し、町内の学校におけるアレルギー対応について、町内の関係者が共通認識を持って対応に当たることといたします。

高等学校

北海道士幌高等学校は、農業および農業関連産業の担い手育成をめざし、地域の信頼に応える教育実践を経営方針として学校経営を展開してまいりました。近年は、少子化の影響から、郡部校の存続が極めて厳しい状況にあるものの、本校の農業教育の実践は、望ましい勤労観や職業観を育むとともに、修学支援制度や海外文化交流事業などを活用し、農業の魅力を伝え地域を支える産業人育成のために大きな役割を果たしているところです。今後につきましても、本校の魅力をより一層高め、環境に配慮した安全・安心な専門性の高い農業教育を実践することを目標に、全教職員が一丸となって取り組んでまいります。

こども発達相談センター

平成28年度に開設した士幌町こども発達相談センターの管理・運営を町長から事務委任を受けて教育委員会が実施しております。児童の心身の発達に関する相談、指導、療育等の支援を行う事業のほか、児童福祉法に基づく指定通所支援事業所として、児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、保育所等訪問支援の事業を適切に実施してまいります。

授業時数の確保

台風等による臨時休業や感染症による学級閉鎖などが発生した場合にも授業時数を確保することができるよう、平成30年度から小中学校を対象に土曜日に学校行事等を実施した際、少なくとも1回は翌月曜日を休業日とせず授業日とする取り組みを実施しておりますが、本年度も継続して実施してまいります。

小学校の在り方

今後、我が国は人口減少と少子高齢化の急速な進展が現実のものとなり、本町においても児童数が急激に減少することになるため、また、国では公立小学校第2学年から第6学年までの学級編成を、令和3年度から5年間をかけて学年進行で段階的に現在の40人から35人に引き下げる計画であるため、各小学校の将来の学年別児童数を毎年度推計してまいります。

コミュニティ・スクール

子どもたちの健やかな成長を支えるためには、学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境をつくる必要があります。そのため、地域住民や保護者が学校運営に参画し、学校が地域と一体となって子どもたちを育み、特色ある学校づくりを

推進する「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を平成30年度から認定こども園を含め、町内の全ての小中高等学校に導入しましたが、今後より一層、学校運営の基本方針や活動状況などを保護者や地域住民と共有してまいります。

学びをつなぐ学校づくりの実現

学校が保護者や地域住民の期待に応え、子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばすためには、認定こども園・小学校・中学校・高等学校の各学校段階間の連携・接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員がそれぞれの力を発揮できる環境づくりが重要です。このため、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けて、学校における働き方改革を推進するための方策をさらに検討し、取り組みを一層推進してまいります。

2 社会教育

平成29年度から5年間の計画期間とする社会教育中期計画に基づき、各種の社会教育施策を推進してまいります。町民が生涯にわたって生きがいを持ち、充実した生活を実現するために、それぞれのライフステージに応じた学習活動

を行って自己実現を図ることが必要であり、その意味では社会教育の果たす役割は極めて重要であると考えます。近年、核家族化や少子化などの影響により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。このため、家庭教育に資する学習活動や子育てに関する支援事業の充実に努めてまいります。生涯学習の推進については、いつでも、どこでも、だれが必要に応じて生涯学びあえる環境づくりを進める必要があることから、様々な学習機会の提供に努めてまいります。

少年教育

サタデースクール、放課後子ども教室、イングリッシュキャンプ、学習サポート塾の継続実施により、自然や生活体験を重視した学習を行い、子どもたちの自立心や協調性、社会性などを養い、豊かな人間形成を図る学習機会の充実に努めてまいります。

青年教育

町づくりの更なる活性化を図るため、青年組織の主体的活動を支援するとともに、ボランティア活動や地域社会づくり等に参加するなど、若い力の町づくりへの積極的な参加を支援してまいります。

成人一般教育

学習ニーズに対応した多様な学習機会が必要であることから、生涯学習講座や研修会、出前講座などを開設し、様々な学習機会の提供に努めるとともに、各種団体やサークル活動への支援を行ってまいります。

家庭教育

インターネットやスマートフォンの普及などの社会環境や共働き家庭の増加などの家庭環境の変化により、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、新たな課題が発生しています。そのため、教育を考える集いやインターネット安心講座などの学習機会の提供を行い、家庭教育の充実を図ってまいります。

女性教育

土幌町男女共同参画推進条例を制定して以来、基本計画に沿って関係機関等と連携協力して取り組み、女性団体の活動支援を行っています。引き続き、女性団体の主体的活動を支援し、女性ライフスタイルの開設、地区女性学級の支援を行ってまいります。

高齢者教育

柏樹学級の開設により、スポーツ・ボランティア活動や世代間交流活動を通して心身の健康増進に

努め、生きがいのある生活が実現できるよう支援していくほか、豊かな経験を生かした学習活動や社会参加を推進してまいります。

芸術・文化

本町における文化活動は、文化協会加盟団体や各種サークルにより自主的な活動が活発に行われています。引き続き、文化団体への活動支援や芸術鑑賞会、文化祭の開催を行ってまいります。

図書館

生涯学習のための拠点として、町民の読書要求と学習意欲に応えられる資料を収集・提供するとともに、広く町民に親しまれる図書館づくりに取り組んでまいります。また、子どもの読書活動を推進するため、小学校と連携した巡回図書や読み聞かせ等の活動を継続するとともに、ボランティアサークルの育成を図り、小学校などでの読み聞かせ活動等の更なる充実を図ってまいります。

スポーツ

健康や体力の維持・増進のほか、地域コミュニティ形成にも大きな役割を果たすものであり、「町民一人一スポーツ」運動を推進してまいります。また、町民が個々の体力や健康状態に応じてスポーツに取り組めるよう初歩的なスポーツ

教室や軽スポーツの普及促進に努めるほか、スポーツ推進委員や町体育連盟各競技団体と連携を図り、各種競技大会を開催いたします。スポーツ少年団活動は、競技技術の向上に加えて、子どもたちの健全育成にも大きく寄与するものであり、指導者の養成や日常活動に対する支援に取り組んでまいります。

社会教育施設

複合施設である総合研修センターが平成6年に開設して以来、生涯学習の拠点施設としての役割を果たしております。今後も、いつでも・だれもが学ぶことができる施設として多くの町民の方々に利用していただけるよう利用者のニーズを的確に把握して、要望に十分応えられるように、施設・設備の維持・管理に努めてまいります。また、本町では、各地区公民館が地域コミュニティを形成する場として重要な役割を果たしており、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。公民館活動推進委員会への継続した支援を行うとともに、公民館施設は各地区の活動拠点であるとともに災害時の避難場所指定されていることから、施設・設備の適切な維持・管理を行ってまいります。

その他、スポーツ施設についても、施設延命化のため、適切に維持・管理してまいります。

学童保育

児童福祉法の規定に基づく放課後児童健全育成事業、いわゆる学童保育を、町長から事務委任を受け、平成28年度から教育委員会ですべて実施しております。小学校との連携を図り、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に、適切な遊びおよび生活の場を提供してまいります。

III おおむね

教育委員会制度改革により、平成27年度から町長と教育委員会が、教育委員会として、これまで以上に町長と連携して、土幌町教育大綱に掲げる「輝く未来へ」しほろ創生の基本理念のもと、今後も次代を担う本町の子どもの心豊かな成長と町民の皆様の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造を目指し、学校・家庭・地域はもとより、関係機関・関係団体等との連携を深めて、本町教育のより一層の充実・発展のため、全力で取り組んでまいります。

3月議会会で可決された主な案件

3月5日から11日まで令和3年第1回定例会が開催されました。

条例改正や令和3年度予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。

○固定資産評価審査委員会委員の選任

高下 慎一 氏

○人権擁護委員の推薦

松浪 智子 氏

○教育委員会教育長の任命

土屋 仁志 氏

○指定管理者の指定

・土幌町いきいきデイサービスセンター…社会福祉法人 土幌愛風会

・下居辺交流施設および土幌町農民健康増進施設（しほろ温泉プラザ緑風および別館）…（株）ベリオーレ

・土幌町地域創造発信拠点施設道の駅ピア21しほろ…土幌町商工会

○土幌町地方創生推進会議設置条例

○土幌町空家等対策協議会設置条例

○土幌町成年後見制度申立審査会設置条例

○土幌町立特別養護老人ホーム入退所検討委員会設置条例

○土幌町認知症高齢者及び障がい者緊急支援事業利用判定等会議

設置条例

○土幌町地域ケア会議設置条例

○土幌町農業委員会委員候補者評価委員会設置条例

○土幌町開町記念事業検討委員会設置条例

地方自治法に基づく附属機関として設置するもの

○附属機関の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

地方自治法に基づく附属機関について、設置条例項目を見直し整備するもの

○土幌町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

医師の給与月額について支給額を追加するため、条例を改正するもの

○土幌町スクールバス管理条例の全部を改正する条例

条例または規則で規定すべき事項を整理するため、条例の全部を改正するもの

○土幌町公民館設置条例の一部を改正する条例

中音更地区運営協議会設立に伴い、地区公民館の名称を改正するもの

○土幌町国民健康保険条例の一部

を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の公布に係る新型コロナウイルス感染症の定義の改正に伴い、条例を改正するもの

○土幌町介護保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布に係る関係基準の改正等に伴い、条例を改正するもの

○土幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防の

ための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に係る関係基準の改正に伴い、条例を改正するもの

○令和2年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

○令和3年度予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計



令和2年度 士幌町文化賞・スポーツ賞等 受賞者のご紹介

士幌町の文化やスポーツの向上発展に関し特に顕著な功績をあげた文化・スポーツ賞の今年度の受賞者をご紹介します。(敬称略)

なお、本来であれば「みんなで教育を考える集い」にて表彰式を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止対策により実施を見合わせたため、本紙面ののみのご紹介となりましたのでご了承ください。

ジュニア文化奨励賞

田中 英仁

(士幌小学校4年)

北海道学び推進月間標語 十勝
教育局優秀賞

市田 柊斗

(士幌町中央中学校3年)

第23回全十勝児童・生徒俳句大会
中学生の部 最優秀賞

ジュニアスポーツ賞

鈴木 凱大

(士幌小学校3年)

サーキット陸上競技大会第3戦
ジャベリックボール投小学3年
男子 第1位/第36回市長杯争
奪少年団大会兼道東少年団交流
大会小学3年男子500m 第
1位/第18回世界ジュニア記念
北海道小・中学生スピードスケ
ート競技大会小学3年男子50
0m 第1位・小学3年男子1
000m 第2位/第43回北海
道スポーツ少年団スピードスケ
ート競技大会小学3年男子50
0m 第2位・小学3年男子1
000m 第3位



上野 愛菜

(士幌小学校3年)

第36回市長杯争奪少年団大会兼
道東少年団交流大会小学3年女
子500m 第2位/第18回世
界ジュニア記念北海道小・中学
生スピードスケート競技大会小
学3年女子500m 第1位/
第43回北海道スポーツ少年団ス
ピードスケート競技大会小学3
年女子500m 第1位・小学
3年女子1000m 第2位

中川 琴葉

(中士幌小学校3年)



小野寺 仁菜

(上居辺小学校4年)

第18回世界ジュニア記念北海道
小・中学生スピードスケート競
技大会小学3年女子500m
第5位・小学3年女子1000
m 第1位/第43回北海道スポ
ーツ少年団スピードスケート競
技大会小学3年女子500m
第2位・小学3年女子1000
m 第1位

サーキット陸上競技大会第2戦小
学4年女子800m 第1位/サ
ーキット陸上競技大会第3戦小学

4年女子800m 第1位／第28回北海道陸上競技フェスティバル帯広会場兼秋季陸上競技記録会第1戦小学4年女子800m 第2位／第36回市長杯争奪少年団大会兼道東少年団交流大会小学4年女子1000m 第2位／第18回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会小学4年女子1000m 第1位



上野 結菜

(土幌小学校6年)
第6回全日本ノービススピードスケート競技会小学生5年女子500m 第4位・小学生5年

女子1000m 第3位／第18回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会小学6年女子1000m 第2位

奥秋 智佳

(土幌町中央中学校3年)
第67回全十勝中学校冬季スケート大会スピードスケート大会女子3000m 第1位・女子1500m 第2位／令和2年度北海道中学校体育大会第51回北海道中学校スケート大会女子3000m 第1位・女子1500m 第1位

國井 麻耶

(土幌町中央中学校3年)
2020年度第28回北海道U-15女子サッカー選手権大会兼JFA第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会北海道大会優勝

土幌町中央中学校スピードスケート女子チーム(奥秋智佳・中島帆乃華・塩谷明里・鈴木咲風・奥秋静子・鎌田璃子)

第67回全十勝中学校体育大会冬季スケート大会スピードスケート大会女子2000mR 優勝・女子総合 準優勝／令和2

年度北海道中学校体育大会第51回北海道中学校スケート大会中学女子2000mR 第1位・女子団体 第2位



ジュニアスポーツ奨励賞

棚内 巧太

(土幌小学校3年)
サーキット陸上競技大会第2戦ジャベリックボール投小学3年男子 第1位

野口 夏帆

(土幌小学校4年)
第36回市長杯争奪少年団大会兼道東少年団交流大会小学4年女子500m 第2位

大野 隆晴

(上居辺小学校3年)
サーキット陸上競技大会第2戦小学3年男子800m 第2位／サーキット陸上競技大会第3戦小学3年男子800m 第1位／第36回市長杯争奪少年団大会兼道東少年団交流大会小学3年男子500m 第2位／第18回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会小学3年男子1000m 第4位／第43回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会小学3年男子500m 第5位・小学3年男子1000m 第2位

河村 京葉

(上居辺小学校4年)
サーキット陸上競技大会第2戦小学4年女子800m 第2位／サーキット陸上競技大会第3戦小学4年女子800m 第2位

奥秋 静子

(土幌町中央中学校1年)

令和2年度北海道中学校体育大会第51回北海道中学校スケート大会女子3000m 第6位

鎌田 璃子

(土幌町中央中学校1年)
第67回全十勝中学校冬季スケート大会スピードスケート大会女子1000m 第1位

原 珠希

(土幌町中央中学校1年)
北海道ジュニアスキー技術選手権ブロック大会十勝会場兼第9回北海道ジュニアスキー技術選手権大会予選会小学生女子の部 第2位

坂本 頼武

(土幌町中央中学校2年)
第66回全日本中学生通信陸上競技大会十勝大会アシックスチャレンジカップ共通男子走高跳 第1位／高平慎士杯北海道ジュニア陸上競技選手権大会男子走高跳 第2位／2020年道東中学生陸上競技選手権大会男子走高跳 第2位／第38回全十勝中学校新人陸上競技大会兼第28回北海道中学校新人陸上競技大会予選会中学2年男子100m 第2位・走高跳 第1位

東井 咲詠

(土幌町中央中学校2年)

北海道ジュニアスキー技術選手権ブロック大会十勝会場兼第9回北海道ジュニアスキー技術選手権大会予選会中学生女子の部 第2位／十勝スキー技術選手権大会中学女子の部 第1位

河村 耀世

(土幌町中央中学校3年)
第66回全日本中学生通信陸上競技大会十勝大会アシックスチャレンジカップ共通男子400m 第1位／第67回全十勝中学校冬季スケート大会スピードスケート大会男子500m 第2位／令和2年度北海道中学校体育大会第51回北海道中学校スケート大会男子500m 第5位
土幌町中央中学校スピードスケート男子チーム(鎌田翔・河村耀世・小野寺昂・鎌田凌輔・篠原世風)
第67回全十勝中学校体育大会冬季スケート大会スピードスケート大会中学男子2000mR 優勝・男子総合 優勝

文化賞

赤間 かなう

(北海道士幌高等学校3年)

令和2年日本学校農業クラブ北海道連盟「意見文コンクール」分類I類 最優秀賞



文化奨励賞

北海道士幌高等学校農業クラブ執行部(阿部優月・尾崎杏奈・熊谷ほのか・駒井愛璃・佐藤寧音)

第69回東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会クラブ活動発表 優秀賞／第72回全道実績発表大会クラブ活動発表 優秀賞
北海道士幌高等学校有機農業専攻

班(赤間かなう・遠山葵・伊藤正樹・熊谷実里夏)

第69回東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会プロジェクト発表分野I類 優秀賞／第72回全道実績発表大会プロジェクト発表分野I類 優秀賞



スポーツ奨励賞

野々村 綾河

(北海道士幌高等学校2年)
令和2年度第48回北海道高等学校選抜卓球大会男子シングルス 第2位

教育長退任のごあいさつ



前教育長
堀江 博文

私こと、3月末日をもって教育長の職を任期満了により退任させていただきました。

顧みますと、昭和55年4月、士幌町役場に奉職以来、今日まで41年にわたり、多くの皆様を支えられ助けられ、町行政事務に携わってまいりました。

在職中は、多くの懸案や諸課題が山積する中で、課題解決のためにご指導ご支援を賜りました町民の皆様方、並びに各関係者に対し衷心より厚くお礼申し上げます。

特に、平成25年4月からは、神野光男前教育長の跡を継ぎ教育長職を甘受させていただき、今日まで子どもたちの「確かな

学力・豊かな心・健やかな体」のバランスのとれた育成を主要テーマとして取り組んでまいりました。

また、全ての町民が生涯にわたり生きがいを持ち、自己実現が図られることを目的とする生涯学習社会の構築を目指し取り組んでまいりました。いずれも大きな行政テーマであり、その成果を得るまでには多くの時間を要しますが、今日までご教示をいただきました町理事者、町議会議員および関係者各位に対し、心から感謝を申し上げます。

本年は、開町100年を迎えました。先達が心血を注ぎ築き上げてきた士幌町は産業・福祉・教育など、いずれも素晴らしい町づくりが展開されています。今後とも、郷土しほろ発展のために、皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに町民皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、お礼の挨拶といたします。

退職者（管理職）のごあいさつ



前建設課
課長
増田 優治

この度、3月末日をもって町職員を退職いたしました。昭和60年4月の奉職以来、建設課、総務企画課と36年間にわたり2つの部署で勤務して参りました。平成28年8月には、1週間に3度の台風が十勝管内に上陸して、多くの住民の方に避難をさせていただくという大災害が発生したことを思い起こします。その時も多くの町民の皆様、関係機関の皆様をはじめ、先輩、同僚の方々からご指導ご協力を賜り、何とかその職責を努め終えることができました。改めまして、心より感謝とお礼を申し上げます。今後は、在職中に賜りました教示を糧に、次の人生を過ごして参りたいと存じます。結びに、皆様のご健勝とご活躍、士幌町の益々のご発展をお祈り申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。



前議会・監査委員事務局
局長
矢野 秀樹

この度、長い間お世話になりました士幌町役場を3月31日をもちまして定年退職いたしました。昭和58年の奉職以来、企画課、税務課、産業振興課、農業振興課、農業共済課、総務課、農業委員会事務局、町民課、特別養護老人ホーム、保健福祉課、議会・監査委員事務局と38年間にわたり様々な部署で勤務して参りました。この間、多くの町民の皆様をはじめ、先輩、同僚の方々からの温かいご指導ご協力を賜り、何とか勤めを終えることができました。改めまして、心から感謝とお礼を申し上げます。現在、新型コロナのワクチン接種の準備が進められています。一日でも早く終息することを願っています。最後になりますが、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。



前子ども課
指導主幹兼副園長
佐藤 仁美

この度、3月末をもって町職員を退職いたしました。昭和57年に奉職以来、新田へき地保育所をかわきりに、士幌保育所、北中や上居辺へき地保育所、認定こども園と39年間にわたり保育業務や子育て支援係を担当し、沢山のお子様や保護者の皆様と出会うことができました。学童保育所を担当した際は「こもれば」の建設にも関わることで、士幌町子ども子育て支援事業計画」など保育士では経験することの出来ない仕事にも携わらせていただきました。この間、町民の皆様をはじめ、先輩同僚から温かいご指導を賜り職務を勤め終えることができました。ここに改めて、これまでのご厚情に心より感謝申し上げます、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、退職の挨拶いたします。



前国保病院
総看護師長
佐々木 直美

この度、3月末日をもちまして定年退職いたしました。平成10年の奉職以来、士幌町国民健康保険病院で看護師として22年間、勤務してまいりました。この間、多くの町民の皆様、関係機関の皆様はじめ、先輩同僚からの温かいご指導、ご協力賜わり、心から感謝とお礼を申し上げます。今後は在職中に賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごして参りたいと思います。終わりに、士幌町の更なる発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます、退職のごあいさつとさせていただきます。



前農業委員会事務局
局長
三島 重浩

この度、長い間お世話になりました士幌町役場を3月末日をもちまして退職いたしました。昭和60年10月に町民課に奉職以来35年半にわたり、様々な部署で勤務して参りました。この間、多くの町民の皆様をはじめ、先輩、同僚の方々からご指導ご協力を賜り、何とかその職責を勤め終えることができました。改めて、心より感謝とお礼を申し上げます。今後は、在職中に皆様方から賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごして参りたいと思います。最後になりますが、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、退職のあいさつとさせていただきます。



前士幌高等学校
事務長
藤井 由美

この度、3月末日をもちまして町職員を退職いたしました。昭和58年に建設課に奉職以来38年間にわたり、様々な部署で勤務してまいりました。この間、多くの町民の皆様をはじめ、職場の先輩、同僚の方々から多くのご指導、ご協力をいただき、無事、職責を終えることができました。改めて心より感謝とお礼を申し上げます。今後は、在職中に皆様方から賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごしてまいりたいと思います。結びに、これからの士幌町の益々の発展と皆様のご健勝ご活躍を心からお祈り申し上げます、退職の挨拶とさせていただきます。

町民皆様のご指導とご支援を心から感謝申し上げます

★第7期行政改革を進めます★

2月26日、民間委員10名で構成される行政改革推進委員会（菊地和浩会長）から、第7期行政改革推進大綱案（実施期間：令和3～7年度）が答申されました。町はこの答申に基づいて、引き続き行政改革を進めていきます。

◆行政改革の取り組み経過

町では、これまでも継続的に行政改革の取り組みを進めてきました。

昭和60年度に第1次「土幌町行政改革大綱」を策定以降、機構改革を中心とした行政改革を継続してきました。

平成14年度からは、第1期として推進大綱とあわせて、数値目標を取り入れた推進計画も策定し、3年ごとに大綱を策定しながら行政改革に取り組んでいます。

これまでの行政改革の取り組み

- ・第1次大綱……………昭和60年策定
- ・第2次大綱……………平成11年策定
- ・第1期大綱および推進計画…平成14年策定
- ・第2期大綱および推進計画…平成17年策定
- ・第3期大綱および推進計画…平成21年策定
- ・第4期大綱および推進計画…平成24年策定
- ・第5期大綱および推進計画…平成27年策定
- ・第6期大綱および推進計画…平成30年策定

◆行政改革の目的・必要性

地方公共団体は「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と地方自治法で定められています。

行政改革とは、その実現のために行政に寄せられる期待や責務を認識し、高い効率性や確実な成果を追求して、自らを改善・改革していく取り組みです。

町の財政の将来見通しは厳しく、少子高齢化および生産人口の減少により税等の歳入の減少傾向、社会保障費等の増大が見込まれます。人口減少社会においても、安定した財政基盤を維持し、効率的・効果的な行財政運営を図るためには、町税等の収入の確保はもとより、住民負担の公平性の確保、受益者の適正な負担、事務・事業経費の見直しなど継続的な行政改革の取り組みが必要です。



第7期行政改革推進大綱案の答申

◆行政改革推進の重点事項

1. 効率的な行政運営の確立
2. 持続可能な財政基盤の確立
3. 協働によるまちづくりの推進

上記の3つの重点事項に基づき取り組みますが、経費節減など財政面を中心とした取り組みだけではなく、効率的かつ質の高い行政運営に取り組むとともに、多様化する住民ニーズへの対応や新たな行政課題に対処できる人材の育成、住民との協働によるまちづくりを主眼とした取り組みを推進していきます。

町民の皆様の ご理解とご協力を

行政改革の推進によって、町民生活への影響も予想されますが、行政が取り組むだけでは限界があります。

町民と行政の役割を明確にして、一体となった行政運営により、第6期まちづくり総合計画「輝く未来へ しほろ創生」の実現を目指します。

※第7期行政改革推進大綱および推進計画は、町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

■担当 役場2階 総務企画課企画グループ 電話5-5212

茶の間

まちの動き



ふれあい
カフェを
開催
社会福祉
協議会

2月20日と27日、カフェみんなのまのりくまさんにて、社会福祉協議会主催のふれあいカフェが開かれ、町民の方で賑わいました。

ふれあいカフェは、総合研修センターで毎年開催している「地域ふれあい広場」の代替イベントとして開催されたもので、20日はハーバリウムづくり、27日は絵手紙の展示会や体に優しい食品等の販売会が行われました。ハーバリウムづくりでは、参加者がガラス瓶にピンセットや竹串を用いて、思いの花と専用のオイルを入れ、オリジナルのハーバリウムを制作。

細かい作業に悪戦苦闘しながらも、楽しんで作品を仕上げていました。



シミュレーションを実施
ワクチン接種に向けて



2月24日、町民保健センターにて、新型コロナウイルスの集団接種に向けたシミュレーションを実施しました。保健福祉課、国保病院の職員ら20名が参加し、入口での検温や消毒から受付、接種、接種済証の発行などの一連の流れのほか、接種後、体調が急変した方の病院への搬送手順などを確認しました。この日、想定していた1人当たりの所要時間は約30分（接種後15分間の健康観察を含む）を要し、おおむね想定どおりの内容となりました。小林町長は「シミュレーションを行うことで、流れや問題点もわかってきた。本番では安全かつスムーズな接種に取り組みたい」と話していました。

行政相談出前講座

土幌高校

3月9日、土幌町行政相談委員の庄司光恵委員と総務省北海道管区行政評価局釧路行政監視行政相談センター職員3名が土幌高校を訪れ、2年生45人を対象に行政相談出前講座を実施しました。同センターの川本委員係長から日頃の生活と行政の関わりや行政相談の仕組み、委員の役割などを説明。その後、行政相談の体験と題して、「駅の階段が滑りやすく、段差がわかりにくい」という実際にあった相談を基に生徒が解決方法を考え、「屋根をつける」「エスカレーターに改修する」など様々な意見が出ていました。庄司委員は「日常生活でおかしいなと思ったことがあれば、行政相談委員に相談してほしい」と話しました。



町民総合情報紙

2021版を発行



4月1日、「2021町民総合情報紙」を発行し、町内全戸に配布しました。情報紙は

「教えて今年の仕事（令和3年度予算）」

「町民便利帳」

「生涯学習ガイド」

の3部構成で、「教えて今年の仕事（令和3年度予算）」は主要施策概要や力点事業予算、「町民便利帳」は防災、税、給付金制度や手続き等、「生涯学習ガイド」は出前講座、学びやスポーツの事業予定、公共施設の利用案内などが掲載されています。

表紙は今年1月に交通公園で開催された「第4回Shihoron ICE」。また、今回新しく「子どもの習い事」として、少年団や教室の一覧表を掲載（108ページ）しましたので、ぜひ活用ください！

町政に対する意見や要望をお寄せください

町民の声を町政へ
ユートピアメール

町は、町民の方々の声を町政に生かす広聴活動をさらに充実させるため、総務企画課企画グループに「意見の広場」を設置しています。

ユートピアメールを使って、郵便やFAX、Eメール等で町政に対する意見や要望をお寄せください。

郵便→「ユートピアメール」用紙を、年に4回、広報しほろに折り込んでいますので、最寄りのポストへ投函ください（切手不要）。

FAX→5-4304「意見の広場」宛

メール→utopia@shihoro.jp

寄せられた意見や要望は全て町長が目を通し、担当課にも知らせて対応を検討します。

回答を希望する方は、必ず住所、氏名、連絡先等を記載してください。

●担当 総務企画課企画グループ広報広聴担当

電話 5-5212

例年4月に開催している春季町づくり懇談会を新型コロナウイルスの終息が未だ不透明な状況のため、今年も中止となりましたが、町では町民の皆さまの意見や要望は随時、お受けしています。来庁やユートピアメール等で町政に対する意見や要望をお寄せください。

**意見の広場を
ご利用ください**



60歳以上のドライバーの皆さん 運転免許証を自主返納するとバス運賃が半額になります!!

近年、交通事故に占める高齢者の割合が増加し、高齢運転者が当事者となる交通事故が増えています。運転に不安を感じながらも「生活の足が確保できない」という理由で運転を続けている方も多いのでは？そこで十勝バスと拓殖バスでは、北海道警察本部等からの協力要請を受け、運転免許の取り消しを申請して運転経歴証明書の交付を受けた方を対象に、バス利用の優遇制度を実施しています。

バス運賃支払時に運転経歴証明書を提示すると運賃が半額

【適用路線】 十勝バス・拓殖バス全路線（十勝管内）

※都市間バス・空港連絡バス・定期観光バス・イベントバスを除く

【運賃】 通常運賃の半額（支払いは現金のみ）

【適用条件】 60歳以上で運転経歴証明書を所持している方

【お問い合わせ】 十勝バス 電話0155-23-5171

拓殖バス 電話0155-26-3636



◆ 運転経歴証明書は、運転免許証と同じサイズで携帯にも便利 ◆



《交付場所》 帯広運転免許試験場（帯広市西19条北2丁目1）

《手続日時》 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

即日交付 8:45～12:00、13:00～15:00

後日交付 15:00～16:30

《必要なもの》 交付手数料1,100円、運転免許証、印鑑

《お問い合わせ》 帯広運転免許試験場

電話0155-33-2470

健康・イキイキ・ライフ

家の中でもできる運動を

健康介護グループ 加藤 なつき



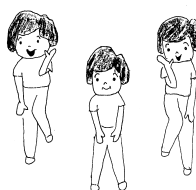
昨今は新しい生活様式が広がり、自宅で過ごす時間が増えました。雪解けは進んでいるものの、まだ寒い日もあるため、外出の機会が減ると運動不足や閉じこもりに繋がります。そこで今回は、ラジオ体操以外の自宅でできる運動を紹介します。

◆歌体操

立っても、イスに座ったままでもできる有酸素運動です。自分の好きな音楽に合わせると、楽しく気分も高まります。たとえば、高峰秀子の「銀座カンカン娘」はリズムが一定なので動きやすいです。また、NiziUの「Make you happy」や瑛人の「香水」等の最近の邦楽であれば、世代を超えて楽しめるのではないのでしょうか。

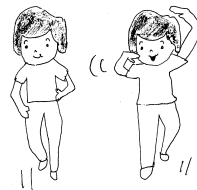
① あの子可愛や カンカン娘 赤いブラウス

左肘&左膝を内側に入れるように上げたら、脚を床に手を太ももに戻す。右肘&右膝も同様に2回。



② サンドルはいて

足踏みしながら、両手を糸巻きのように大きくグルグルと回しながら上げていく。



③ 誰を待つやら 銀座の街角

手を左上からジグザグに叩きながら下りていく。手を叩いた側の脚を同時に床で鳴らす。上半身は手に合わせて左右に揺らしながら顔はまっすぐに。



④ 時計ながめて

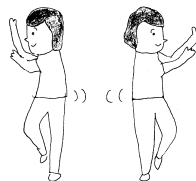
そわそわ にやにや

両手の人差し指を立てて、左手&左足を横に出したら、元に戻して右も同様に。



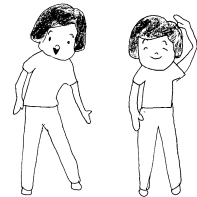
⑤ これが銀座の

足踏みしながら、前に出した両手を左→右、右→左へと移動させて上半身をひねる。角まで来たら「ヨイショ」のかけ声で左膝を上げる。



⑥ カンカン娘♪

左手足を斜め前に出す。このとき、肘と膝はまっすぐに伸ばす。次に左手をカンカン帽を被るように頭へ。左足はつま先を自分側へ引く。左右各1回。



◆手足バタバタ体操

「毛管運動」とも言われ、両手足を心臓より高い位置に持っていくことで、血流が促進されます。また、手足をバタバタさせることで、日常生活では使わない骨盤の内側にある筋肉（インナーマッスル）を鍛えることができます。

① 布団や床で仰向けに寝る。

② 両手足を天井に向かって上げる。手の指をピンと伸ばし、足の指はできるだけ天井に向ける。

③ 両手足を小刻みに1分ほど「ぶらぶら」揺らす。

普段、歩いていてちょっとした段差（畳の縁など）でつまずくことはありませんか？歩くときにつま先の高さが低い方は、太ももを上げる筋力が弱いことが分かっています。つまずき防止には、しっかりと太ももを上げることが大切です。

■担当 総合福祉センター内 健康介護グループ 電話5-2108



こどもだより



「あこがれと自信を持って小学校へ！」

認定こども園副園長 佐藤 仁美



4月から小学校へ入学する子どもたちが毎朝、朝学に励んでいます。小学校の教卓への向き合い方を意識し、椅子を机代わりに楽しみながら学習しています。朝学のねらいは「小学校の授業の雰囲気慣れること」「学習に対する不安解消のための事前練習」「鉛筆に慣れさせる」ことです。この取り組みは年中児から始めており、「なかよし会」から寄贈してもらったドリルを使用しています。初めは迷路や間違い探しなどの遊びながら学習できる素材を使用して、興味・関心を持たせることからスタートしました。年長児からは少しずつレベルアップを図りながら、ひらがなや数字などをクイズ方式で楽しみながら学んでいます。こども園で経験したことが、少しでも子どもたちの自信につながってくれたらと願います。ぞう組20名とらいおん組19名を担当する4名の先生方の願いは「あこがれと自信をもって小学校に上がってほしい」という熱い思い。みんな、がんばってね！



全集中で朝学に取り組むぞう組とらいおん組の子どもたち

連絡先 認定こども園なかよし 子ども課 電話5-2364 (相談専用) 電話5-2502



特養だより



「感染防止対策2」

2月号で「感染防止対策」をお伝えしましたが、今回は医務看護師が行っている感染防止対策をお伝えします。新型コロナウイルスはどこに潜んでいるかわからず、いつどこで感染するかわかりません。当初、施設では「新型コロナを持ち込まない」の考えのもと、対策を行っていましたが、現在は「新型コロナを持ち込んだときには広げない」の考えも加え、日々対策に努めています。



医務看護師は、施設内で防護服着脱技術指導、手順作成、発生時を想定したシミュレーション、国保病院と感染予防対策の情報共有や連携など、様々なことを行っています。また新型コロナウイルスのワクチン接種に向け、各部署との調整も行っているところです。現在、日常ではない生活を送らざるを得ない状況ではありますが、今後も利用者様には、安全・安心、その方らしい施設生活が出来るように職員が役割をそれぞれ発揮しながら、感染防止対策に努めていきます。



連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話5-2416

医師のホンネ No.10

～意外な事実！ 土幌病院は超清潔だった～

土幌町国民健康保険病院 院長 宮西 秀二



①土幌病院なんてどうせ不潔よ！

と思ってるあなた 残念でした～

意外や意外！

実は、土幌は十勝圏内ではトップ級のコロナ対策バッチリ病院なんです
知らなかったでしょ！

②大きな声では言えないけど…帯広の病院が清潔よ？

次も読んでください

③感染症専門医師がいるんです

実は昨年6月から札幌医大から来てくださる先生のなかにいたんですよ…

道内でもほんの数人しかいない「感染症専門の先生」が…

今となれば超ラッキー！

先生は毎月1～2回月曜日午前中に病院・特別養護老人ホームを数人でまわり、
「水戸黄門様」のように、温かくも厳しく指摘いただき、

すぐに職員全体で実行してきました

おかげさまで現在は「十勝でトップ級！」

やっぱ、専門の黄門さまは違うわ…別格だわ…

私もホント そう思っております

④けど…安心は禁物！

今後もしっかり気をつけていきます

どうぞよろしくお願いします

ではまた来月…

新しく2名の看護師が入りましたので、紹介します

稲本 真紀です。

昨年12月に福岡県久留米市より土幌町へ移住して参りました。初めての北海道、そして土幌町に来て、広大な大地と遠くに見える山々、澄んだ空気と気持ち



の良い青空、真っ直ぐに続く道を見て、土幌町が好きになりました。年甲斐もなくおてんばな面もありますが、仕事は真剣に取り組み、みなさまのケガや病気の回復、療養にお役に立てるよう努めて参ります。

菱沼 由佳です。

土幌町出身です。今回、地元に戻ってきました。

3年前からフレンドブルドックの里親になり、日々癒やされています。

土幌町の好きなところは、四季折々の景色。特に、ヌプカの山の風景が好きです。

地域医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



■担当 国民健康保険病院 電話 5-2106

町長日誌 Vol.210

＝新年度に向けて＝

第1回定例町議会(3月5日～11日)において、新年度当初予算が成立しました。一般会計7,155百万円(前年度比104百万円1.4%減)、全体予算(8会計)は11,199百万円(603百万円5.1%減)となりました。下水道処理場、防災無線の整備や道路の新設改良事業の減などにより減少する予算となりましたが、光ファイバ整備、土地改良事業など、令和2年度予算で令和3年度に継続して実施する事業が690百万円あり、令和3年度一般会計の実質事業予算は7,845百万円となります。

新型コロナ対策(ワクチン接種、生活・経済支援)、開町100周年記念事業、病院や特養ホーム施設整備、農業基盤整備事業などを推進する予算となりました。町議会や町民の皆様のご意見を踏まえ、効率的かつ計画的な執行に務めたいと思いますが、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

＝活き生きしほろを目指して＝

新型コロナワクチン接種

ワクチン接種は4月から高齢者の接種の予定でしたが、ワクチン供給の遅れで5月以降となる見込みであります。ワクチン供給に対応して、スムーズで安全な接種を進めます。



ワクチン供給に遅れ

主なスケジュール

3月

1日	◆ 課長会議 ◆ 第15回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
2日	◆ 議会運営委員会
4日	◆ 第2回開町100周年記念事業検討委員会
5日	◆ 第2回十勝川流域治水協議会(Web会議) ◆ 北海道日本ハムファイターズオンライン決起集会 ◆ 令和3年第1回定例町議会(～11日)～提出した38案件(令和3年度当初予算案8件を含む)原案通り可決承認いただきました。
16日	◆ 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク会議
17日	◆ J A士幌町・北斗運輸(株)より産業振興への寄付金を贈呈いただく
18日	◆ ヤマト運輸包括連携協定締結式
22日	◆ 第3回臨時町議会
23日	◆ 4月1日付職員人事異動内示
24日	◆ 水土里ネット北海道令和2年度通常総会 札幌市
25日	◆ 北海道造林協会理事会 札幌市
26日	◆ 北十勝2町環境衛生処理組合議会定例会 上士幌町

人の動き

6,011人(－13) 男2,952人(+20) 女3,059人(－33) 世帯2,756(+19)

※2月末現在()は前年比

国の重要文化財である「美濃橋」の修復工事が完了したことを祝う竣工式とセレモニーが、3月9日に行われました。大正5年建設の「現存する日本最古の近代吊り橋」である美濃橋は、建設から100年以上が経過し、今回、老朽化により損傷した部分を、当時の状態を残す特殊な手法を用いながら、5年の歳月をかけて補修・強化されました。

この日のセレモニーでは、武藤市長など関係者によるテープカットの後、3歳から96歳まで各世代の市民21名による「渡り初め」が行われました。渡り初めを行った最高齢の参加者は、「思い出のある橋が綺麗になり、清々しい気持ちで渡ることができた。」と笑顔で話していました。

「美濃橋」の修復工事が完了！ セレモニーが行われました



美濃のまちから

安全・環境だより

子どもを交通事故から守りましょう!



春先は小学校低学年の児童が道路に飛び出し、事故に巻き込まれるケースが多く発生しています。

小さなお子さんを持つご家庭では、日頃から正しい横断歩道の渡り方、信号機の見分け方など交通ルールを身につけさせ、交通事故にあわないようにしましょう。

ドライバーの皆さんは、いつ子どもが飛び出してくるかわかりません。時間にゆとりを持ち、すぐに止まれるスピードで走行し悲惨な交通事故を起こさないようにしましょう。

ごみの出し方 再確認

家庭ごみを排出される際、ごみがガラスやキツネ等に荒らされないように、ごみネットを被せて排出される場合があります。

しかし、ネットの四隅に重石がないことから、風でごみが飛散したり、結局ガラスやキツネ等が荒らすことが見受けられます。ネットの隅には重石を載せて排出されますようお願いいたします。



望ましい例

大型ごみ、小型家電、鉄・金物類の回収

4月は大型ごみ、小型家電、鉄・金物の回収月です。ごみの出し方を守って忘れずに出ししましょう。

◆大型ごみ

45リットルの指定袋に入らない物は大型ごみです。大型ごみシールを貼って出してください。



※長さが2m、重さが100kgを超えるものは収集できません。

◆小型家電(無料)

45リットルの袋に入る、コンセントまたは電池を使用する電化製品が対象になります。

※電池、蛍光管や電球は取り外して出してください。

◆鉄・金物類(無料)

透明・半透明の袋に、鉄・金物類だけを入れて出してください。

なお、袋に入らない大きな鉄・金物類(例：自転車等)は大型ごみのシールを貼らずに出してください。

※長さが2m、重さが100kgを超えるものは収集できません。

前年度とのごみ発生量の比較

春は新生活準備や引っ越しなどが多いため、ごみの発生量が増加する傾向にあります。資源として分別できるものはリサイクル業者等へ持ち込むなど、ごみの減量にご協力をお願いします。

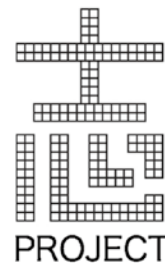
今月のごみ指数

単位：kg

	令和3年2月分	前年同期	増減
燃やせるごみ	57,350	58,040	-1.2%
燃やせないごみ	13,540	10,090	34.2%
合計	70,890	68,130	4.1%
町民1人当たりのごみの量	6,011 11.8	6,024 11.3	
資源ごみ	29,480	33,137	-11.0%
有価物販売額(円)	178,243	221,650	-19.6%

ごみに関するお問い合わせは、町民課住民生活グループ電話5-5231までお願いします。

いま、土幌高校では



3月は出会いと別れの季節です。今年も本校を61名の卒業生たちが巣立っていきました。コロナ禍の中、思うような教育活動ができなかった令和2年度でしたが、ここコマクサでは、降り積もる雪に覆われた春待つ息吹を感じながら、令和3年度は充実した教育活動が展開できるよう、今はただ準備あるのみです。町民の皆様、令和3年度も本校の教育活動について、ご理解とご協力をお願いします。

(3月3日現在)



◆2月25日(木)

町内の農家の方から、今話題の「キクイモ」の提供がありました。このキクイモの魅力的な活用方法を本校の地域資源専攻班で探っていくこととなりました。地域資源専攻班の新たな活動にご期待ください。

◆3月1日(月)

本校体育館において、第68回卒業証書授与式が挙行されました。コロナ禍の中、時間短縮および入場者数を制限しての式となりましたが、厳かな雰囲気の中、61名の卒業生たちが、それぞれの進路に向けて巣立っていきました。これからの活躍に期待します。



担任の景安宏貴先生(左)と富田英佑先生(右)



アグリビジネス科



フードシステム科



-[4月の予定]-

○学年始休業	1日～6日
○始業式・着任式	7日
○入学式	8日
○新入生対面式	9日
○7時間授業日	12日・26日
○級内意見発表	12日～13日
○代議員会	21日
○授業参観・校内研修会	29日



ホームページやFacebook・Instagramで本校の様子を紹介していますので、ぜひご覧ください。

教育の窓

令和2年度 コロナ禍の卒業式



令和2年度の卒業式は、中学校が3月15日に、小学校は3月24日に執り行われました。昨年度と同様、参加人数の制限や時間の短縮

などの感染防止対策を実施した中での開催となりました。

中央中学校では、在校生や来賓の皆様の参加を取り止めて、参加者を卒業生と保護者、教職員に絞



った中で、歌う場面や挨拶も省略して時間の短縮を図りました。

最初に70人の卒業生に校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業証書を受け取る卒業生の皆さんのその凛としたその振る舞いは大変立派でした。3年間の中学校生活での大きな成長の跡を感じるものがありました。

新型コロナウイルスの関係で卒業式には参加できなかった1・2年生からは、各クラスが製作した映像で、卒業生への思いや感謝の気持ちを伝えていました。その後の在校生代表からの贈る言葉とともに、心温まるメッセージが届けられました。

6年生を送る会 各学校で工夫し開催

各小学校では、適切な感染防止対策をとった「6年生を送る会」が開催されました。

上居辺小学校では、卒業を控えた6年生にミュージックベル、劇や歌のプレゼントがありました。どれも卒業生への思いが感じられる心温まるもので、上居辺小学校らしさを感じられる催しでした。



中士幌小学校でも小規模校の強みを活かして、例年に近い形で実施することができました。各学年からの出し物などで、お世話になった6年生へ感謝の気持ちを伝えました。みんなとても楽しい時

間を過ごすことができました。



士幌小学校では、子どもたちの3密を回避するため、全校児童が集まっての実施は見合わせ、ビデオカメラや大型テレビを活用したリモートの形で「6年生を送る会」を開催しました。



町民文芸



俳句

・御土産や期待ドキドキ桜餅 さくらもち 和田節女

・杖頼り交わすあいさつ春隣 星屋徳峰

川柳

・突如鳴る防災ラジオ有り難き ありがた

和田節子

短歌

・東北の大震災も十年に津波のすごさに恐怖をいただく

白木美恵子

・親族らの集いし日日ははるかなり盆・正月のイベントだったね うから

谷本幸枝

・春の気を感じし作か夫の句が苦吟のあとややにしのばる

小川季代

・夕暮に友を乗せての帰宅中猛風雪に初めて経験 清水さよ子

・太陽のシャワーを浴びて雪解けるふくじゅそうの笑顔がのぞく

三木悦子



バトンタッチ



つながりを大切に



士幌南二区

牧野 浩幸さん まきの ひろゆき

プロフィール

◆家族構成◆

妻・祖父・祖母・父・母・姉・弟

◆士幌で好きなおところ◆

しほろタイヤサービス

◆最近ハマっていること◆

半身浴（YouTubeなど見ながら）

浩幸さんは士幌町出身。帯広農業高等学校を卒業後、20歳を期にご実家の牧野農場（畑作専業）へ就農し、今年で3年目になります。

お仕事の魅力について訪ねると、地域のつながりが強いところと話す浩幸さん。

日頃から地区で支え合い仕事をこなすところに、他の職業にはない魅力を感じるのか。

最近、地区の集まりも少なくなり、交流の場もなかなか持てませんが、まずは現状維持を目標に、仕事に励んでいきたいと話していました。

プライベートでは、昨年の12月に結婚。仕事もより一層身が入ったそうです。

趣味はゲーム。もっぱらFPS（ファーストパーソン・シューティングゲーム）をやることが多く、コロナ禍でのおうち時間では、奥様と一緒にやる時間も増えました。

「新婚旅行にまだ行けていない」とのこと、コロナが落ち着いたら沖縄に行きたいと話す浩幸さんでした。

今回は、士幌南二区の矢野尚吾さんにバトンタッチ。浩幸さんから尚吾さんへ一言。「青年団団長のサポートしますのでお願いします！」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

すみっこのかくれんぼ (うえだしげこ)
塔の上のラプンツェル (KADOKAWA)
ノラネコぐんだん ケーキをたべる (工藤ノリコ)
なにかがいてる (佐藤雅彦)
ピンポンパンポンプー (劇団ひとりほか)
オレ、ねたくないからねない (マイク・ボルト)
みかんおいしくな一れ (矢野アケミ)
おしりたんてい おしりたんていのこい!? (トロル)
おしりダンディ (トロル)
こころキャラ図鑑 (池谷裕二)
どうぶつのおっぱいずかん (今泉忠明)

【一般書】

八月の銀の雪 (伊与原新)
母影 (尾崎世界観)
オルタネート (加藤シゲアキ)
あの日、君は何をした (まさきとしか)
おぼんでございます (桜木紫乃)
続 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。 (Jam)
他人の悩みはひとつと、自分の悩みはおおごと。 (幡野広志)
北海道のトリセツ (昭文社)
ポストコロナ期を生きるきみたちへ (内田樹)
敏感すぎる心がスーッとラクになる本 (長沼睦雄)
オートミール米化ダイエットレシピ (これぞう)
日本観光列車ガイド2021 (谷崎竜)

★ながいながいねこのおかあさん

(ヒグチユウコ)

子猫のお母さんは体が長い長い猫。ある風の強い日、子猫は風で遠くに吹き飛ばされてしまいます。子猫はお母さんに会えるのでしょうか?親子の愛情を描いたおはなし。



★棚からつづ貝

(イモトアヤコ)

南極でテントが壊れても平気なじい、全力で泥水に飛び込むおもしろ女優、大好きな家族…。世界中を飛び回りながら、イモトが出会った大切な人たちを綴った、初のエッセイ集。



★★今月の休館日★★

6、13、20、27日
(毎週火曜日)

したしみ図書館(総合研修センター内) 教育課 電話 5-4733 【開館時間】10時から18時まで
<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/shihoro/webopac/index.do>

★善意に感謝します★

寄付・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業

和田登志男さん(佐倉南区) 3万円

▼その他

東日本富士新道路路帳

デジタルサイネージ

《特別養護老人ホームへ》

アトリエ会

じゃがいも

長谷川隆弘さん(帯広市)

ティッシュ

聖教寺仏教婦人会

洗濯洗剤

J A 女性部

タオル

株せわたま

切り干し大根

《認定こども園へ》

ほのぼのホーム・ボランティア

手作り布マスク

《学校給食センターへ》

士幌町酪農振興協議会バターほか

《社会福祉協議会へ》

野村明さん(緑光)

10万円

共進女性部

6,983円

★おくやみ★

藤村 義信さん(91歳) 特養
佐藤 セイさん(98歳) 特養
寺田 清さん(94歳) 大通
山田 和廣さん(69歳) いこい
北川 順子さん(70歳) 若葉

★お誕生★

五十嵐 豊治さん(89歳) 本通
森 孝男さん(72歳) みどり
佐野 光枝さん(85歳) 共成
菅野 李仁さん(2月23日生) 仲通
田中 瑛麻さん(3月2日生) 健二さん
若葉
(3月15日受付分まで)

リングプル寄贈 ～士幌小～



～心より感謝申し上げます～

3月9日、士幌小学校ボランティア委員会の児童がリングプルを寄贈しました。この日、同学校校長室にて、委員長長の瀬戸瑛太さん(6年)と副委員長の赤間惺さん(同)から、保健福祉課の長岡直美主任に校内で集めた22.2kgが手渡されました。委員長長の瀬戸さんは「困っている人の役に立てるよう、みんな協力できてよかった」と話していました。



暮らしのカレンダー 4月

日にち	行	事	場所
1 木			
2 金		中士幌保育園入園式	
3 土			
4 日			
5 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 10:00～11:00	ぴよぴよ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
6 火	☆ 9:30～11:30	川西へき地保育所入所式	中児
	10:30～11:30	にこにこ広場	保セ
	13:00～14:00	スマイル教室	タウン
	13:00～16:30	ふまねっと	福セ
	13:15～13:30 受付	予防接種（乳幼児） （四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎）	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	15:45～16:00 受付	予防接種（学童～） （日本脳炎・二種混合）	国保
7 水	☆ 13:30～15:30	認定こども園なかよし入園式 ごごの広場	中児
8 木	受付時間は個別通知	小中学校入学式 土幌高等学校入学式 もぐもぐ教室	福セ
	9:00～ 9:30 受付	まる元運動教室	タウン
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	タウン
	13:30～14:00 受付	まる元運動教室	中士幌
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
9 金	9:00～11:30	上居辺へき地保育所入所式	福セ
	☆ 9:30～11:30	赤ちゃん相談	認定こ
	13:00～14:00	わんぱくの日	コミセン
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
10 土			
11 日			
12 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
13 火	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	13:15～13:30 受付	予防接種（乳幼児） （四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎）	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	15:45～16:00 受付	予防接種（学童～） （日本脳炎・二種混合）	国保
14 水	受付時間は個別通知	乳児健診	保セ
	9:00～ 9:30 受付	まる元運動教室	タウン
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	タウン
	13:30～14:00 受付	まる元運動教室	中士幌
15 木	☆ 9:30～11:30	おひさまの日	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	中士幌
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児

日にち	行	事	場所
17 土			
18 日			
19 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
20 火	☆ 9:30～11:30	なかよくあそび	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
21 水	受付時間は個別通知	むし歯予防教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
22 木	9:00～ 9:30 受付	まる元運動教室	タウン
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	タウン
	13:30～14:00 受付	まる元運動教室	中士幌
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
23 金	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:15～13:30 受付	予防接種（乳幼児） （四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎）	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	15:45～16:00 受付	予防接種（学童～） （日本脳炎・二種混合）	国保
24 土			
25 日			
26 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:15～13:30 受付	予防接種 （BCG・麻しん風しん混合）	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
27 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
28 水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	9:30～11:00	おっぱい相談（要予約）	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
29 木		昭和の日	
30 金	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児

【凡 例】

福セ	→ 町民保健センター	国保	→ 国保病院
保セ	→ 総合福祉センター	中士幌	→ 中士幌地区公民館
中児	→ 中士幌児童ステーション	タウン	→ タウンプラザ
認定こ	→ 認定こども園なかよし	総研	→ 総合研修センター
		コミセン	→ コミュニティセンター

※子育て支援は0歳児から就学前のお子さんを持つ家庭の方が対象です。また、キッズ・クラブは会員登録制です。☆印のお問い合わせや子育ての相談は子育て支援センター（電話7-4102）または認定こども園なかよし（電話5-2502）まで
※まる元運動教室は、地域包括支援センター（電話5-2188）にご相談ください。



この広報誌は、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。